

文化施設(博物館等)運営状況調査 (令和7年度実績)

目次

施設運営基本情報について

- 1 県内施設の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 入館者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 休館日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 4 県の文化芸術振興施策に対する意見、他の文化施設と意見交換したい事項等・・・・2

第2次千葉県文化芸術推進基本計画の施策の柱に基づく実施状況について

- 1 【柱1】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実・・・・・・・・・・3
- 2 【柱2】文化芸術を通じた連携・協働・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- 3 【柱3】多様な伝統文化の保存・継承・活用・・・・・・・・・・19
- 4 【柱4】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信・・・・・・・・・・24

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

施設運営基本情報について

1 県内施設の種別

県内施設の種別

全体	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計
	2	5	5	0	23	3	2	40

(エリア別内訳)

ベイ	2	2	3	0	8	1	1	17
東葛飾	0	1	1	0	6	0	0	8
北総	0	1	0	0	5	0	0	6
九十九里	0	1	1	0	0	0	1	3
南房総	0	0	0	0	1	2	0	3
かずさ・臨海	0	0	0	0	3	0	0	3

全体に対するエリア別施設数割合(%)

42.5

20.0

15.0

7.5

7.5

7.5

2 入館者数について

総回答者数

40

令和7年度の入館者数(概算含む)

	①入館者総数(人)	② ①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和5年度	3,904,627	1,396,181

(エリア別内訳)

ベイ	1,790,773	797,307
東葛飾	290,189	190,745
北総	329,482	269,147
九十九里	404,362	44,964
南房総	1,041,082	65,082
かずさ・臨海	48,739	28,936

全体に対するエリア別入館者総数割合(%)

45.9

7.4

8.4

10.4

26.7

1.2

※伝統文化とは、伝統芸能、郷土芸能、地域固有の文化。また、生活文化、国民娯楽、文化財等、歴史的又は文化的景観のうち伝統的なものを指す。

(参考:前回との比較) 総回答者数:39	①入館者総数(人)	② ①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和6年度	2,902,546	1,148,981

(エリア別内訳)

ベイ	860,767	507,340
東葛飾	293,201	206,810
北総	639,404	287,545
九十九里	43,625	41,850
南房総	1,005,432	67,432
かずさ・臨海	60,117	38,004

全体に対するエリア別入館者総数割合(%)

29.7

10.1

22.0

1.5

34.6

2.1

3 休館日について

総回答者数

40

【2】

(1)休館日について教えてください(年末年始等の休館は除く。)

全体	日	月	火	水	木	金	土
	4	32	3	2	0	0	0
(内訳)							
a.毎週	4	31	3	1	0	0	0
b.隔週	0	0	0	0	0	0	0
c.その他(月1回等)	0	1	0	1	0	0	0

(2)休館日を変更する予定の有無等について

①変更予定	(件数)	②変更の内容(抜粋)	③変更の予定時期(抜粋)
有	5	大学の長期休業中は、土日休館に変更 入園状況に応じて休館日を設定	8・9月、2・3月 閑散期に設定する可能性もある
無	32		

(3)利用者から休館日について要望の有無等について

①要望の有無	(件数)	②要望の内容	③要望への対応予定
有	1	建造物や庭園養生のため行なっている冬季・夏季の長期休館に対する要望	理由を説明しご理解いただくよう努めている
無	35		

4 県の文化芸術振興施策に対する意見や、他の文化施設と意見交換したい事項等(抜粋)

①意見等
他の博物館の資料のデジタルアーカイブ化の進捗状況とデジタルアーカイブされている場合の評価方法。

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱1】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

～身近な日常の中にある文化芸術にもスポットを当て、
誰もが文化芸術の鑑賞や自己表現を行いやすくなるための基盤を整備します～

誰もが文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした主催事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	21	52.5
実施していない	19	47.5
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	10	47.6
東葛飾	4	19.0
北総	2	9.5
九十九里	2	9.5
南房総	2	9.5
かずさ・臨海	1	4.8

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	14	66.7
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	5	23.8
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	2	9.5
e. 講演会・研修会・シンポジウム	3	14.3
f. 作品の公募・展示	7	33.3
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	9.5

※実施事業を2つ回答した施設があるため、回答数(C)の合計は回答数(A)を超える。

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	7	12	3	3	1	0	1	3	30

【h. その他】の概要(抜粋)

・施設の老朽化による設備故障
・普及事業の基盤となる調査研究を行う時間が確保しづらい

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	7	9	6	4	1	4	1	4	36

【h. その他】の概要(抜粋)

・文化施設ではないため、実施事業が限定される

【柱1】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

～身近な日常の中にある文化芸術にもスポットを当て、
誰もが文化芸術の鑑賞や自己表現を行いやすくなるための基盤を整備します～

誰もが文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした主催事業について

(3)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	常設展示	f.作品の公募・展示	市内で出土した資料を中心に、旧石器時代から平安時代中ごろまでを時代順に展示しており、当館の主軸となる事業である。		1972		市史編纂や考古学研究、あるいは科学技術の進展により、展示替えが急務となっている。	通常通り開館し見学していただく。故障中のエレベーターは早々に修繕する。
		小企画展	f.作品の公募・展示	学芸員が指導し博物館実習生が制作する1年間の小企画展である。8月上旬の実習終了後から、翌年の実習まで1年間開催する。				本格的な企画展が3年に一度の開催である当館では、低予算で毎年開催できる当展示の成果は貴重である。	令和7年度と同様に開催する。
	千葉県立美術館	ワークショップ・実技講座	a.イベント(不特定多数が参加)	県民に向け、子どもから一般まであらゆる世代が参加できる各種創作体験を行い、芸術活動の楽しさを学んでもらう。	大学	1976			特に若年層、ファミリー層に向けた、施設として特徴のあるプログラムを実施したい。
		鑑賞プログラム	a.イベント(不特定多数が参加)	対話型鑑賞プログラムやギャラリートーク、ファミリー向けの館長プログラムを実施している。		2019			今年度も実施予定。特にファミリー層に向けたプログラムを実施していきたい。
	市立市川歴史博物館	昔あそび(竹と枝と木の実の工作)	a.イベント(不特定多数が参加)	月に1回、午後1時から3時にかけて竹や枝、木の实を使用した工作教室を実施。竹とんぼづくりや無しの枝で出来たストラップなどを工作。		2024		子供向け事業として実施。大人子ども問わず毎回好評得を得ている。市川市と所縁があったり、歴史博物館らしい工作物を模索している。	8年度も実施。江戸時代に遊ばれていたおもちゃや、季節の行事に合わせた工作などを予定。
		藍の生葉で染めてみよう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	藍の葉を使った染物体験を実施。植物の解説を行い、その後藍の葉の染液で絹のハンカチなどで絞り染めを体験。	なし	2025	2025	藍染、絞り染めについて触れる機会を提供することができた。	令和8年度実施予定なし。
	千葉県立中央博物館	和とじ本をつくろう	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	千代紙と糸を使って和とじのメモ帳を作るイベント。糸が切れた和とじ本の修復方法についても解説。	なし	2025	2025	和とじ本について触れる機会を提供することができた。	令和8年度実施予定。
	千葉県立現代産業科学館	令和7年度企画展「うみ・千葉めぐり 魅力あふれる海の仕事」	a.イベント(不特定多数が参加)	三方を海に囲まれた千葉県にとって、海は大変重要な存在である。銚子港、千葉港、九十九里浜と日本を代表する、海に関する多くの事柄があり、第1～3次産業それぞれの方面で色濃い関わりがある。第1～3次産業それぞれの方面から海への関わりを紹介していくことで、海の重要性の理解促進を図り、来館者の郷土への理解と愛着を深めるとともに、企画展を通して、我々がどのように海と関わってきたのかを、職業・技術・安全・学び・楽しむなど様々な視点で見直す機会を提供した。		2025		来館者へのアンケートは297件の回答を得、「満足」と「まあまあ満足」を合わせて100%となり、実際に触れて体験できる資料を数多く展示したことが来館者の満足度につながったと考えられる。	令和8年度企画展「未来の素材ワールド～くらしを変える新しいチカラ～」を10月10日(土)～11月29日(日)に開催予定。
		プラネタリウム上映会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	直径23メートルのドームスクリーンと勾配30度の階段状観客席をもつサイエンスドームにおいて、プラネタリウムクリエイター大平貴之氏によるプラネタリウムを上映。国内外の絶景や星空を、まるで現地にいるような臨場感あふれる映像と輝く星々により再現した4作品の上映を行った。		2006		例年同様、上映会は好評であった。会期中4回のプラネタリウム作品制作者による解説会を行ったが、その中で、千葉県内での撮影秘話などの紹介もあり、参加者の満足度は高かった	上映予定4作品のうち2作品に新たに字幕を付し、音声を聞き取りにくい方にも楽しんでもらえるようにした。
	飛ノ台史跡公園博物館	縄文コンテンツポラリー展	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館と現代アートを中心としたアーティストとが、博物館を舞台に縄文をキーワードに夏休み期間を通じ作品展示やワークショップなどを実施し、広く市民に縄文に親しんでもらう取り組み。	縄文コンテンツポラリー展実行委員会	2002		実行委員会のメンバー構成が変わらず、組織の新陳代謝が停滞しているため、予算措置を含め将来展望が描け辛い事業となっている。しかしながら、博物館展示と現代アート作品の並列展示の先鞭をつけた事業としての一定の評価を得ている。	第25回縄文コンテンツポラリー展の開催を予定しており、テーマを決め、作品展示、ワークショップ、パフォーマンス・イベントの形で表現する。
	千葉市動物公園	動物園で浪曲	a.イベント(不特定多数が参加)	浪曲師・曲師を招き、浪曲の楽しみ方や動物公園を題材にした浪曲を演奏、公演する。	各教育機関	2019		オンラインでの参加者も含め、多くの方に参加いただき、日本文化に触れるきっかけとなった。	令和8年度以降の実施は未定。
	和洋女子大学文化資料館	令和7年度 秋の企画展「人生をいろどる装い」	j.その他	本展示では、明治時代から江戸時代の人生をいろどってきた衣服(祝い着、色打掛、万祝等)を中心に展示。		2025	2025	事前に他館へのポスター・チラシ配布を行えたことにより、ここ近年ではより多くの来館者を迎えることが出来た。	データベースを導入したため、本格的に収蔵資料の台帳作成ならびデータベース化を進める。いずれは一般利用者にも資料情報を閲覧してもらうことを目標とする。
	千葉経済大学地域経済博物館	古文書相談室(全1回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	古文書の読み方についてごく初歩から学習することで、参加者に歴史資料のもつ魅力を身近に感じてもらい、より深く知る機会としてもらう。令和7年度は近世後期の種痘に関する史料をテキストにして実施した。	なし	2012	なし	アンケートの結果から、解説が丁寧でわかりやすかったこと、また、テーマへの関心が高かったことが伺えた。一部、少し難しかったという感想があった。	前年度と同様に開催の予定。
		古文書講座(全2回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	地域の方々へ向けた博物館主催講座の一環として、古文書に書かれた内容から、当時の歴史的背景や人々の行動を窺い深く歴史について理解することを目的として開催する。令和7年度は、江戸時代関東の広域訴願闘争に関する史料をテキストにして実施した。	なし	2011	なし	アンケートの結果から、古文書を読むだけでなく、背景も学ぶことができ、興味深い内容であったことが伺えた。また、少し進行が速かったという感想があった。	前年度と同様に開催の予定。

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市美術館	「みんなでつくるスタジオ」事業より、「登録ワークショップパートナーとつくるワークショップ」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	登録パートナー制度を通して、市内外の個人や団体と協働しながら、幅広い年齢層の市民が参加できる文化体験を提供する。地域のクリエイティブな人材を発掘し、より開かれた市民活動へとつなげていく。	公募	2000	未定	公募・選考を終了7組のパートナーとともに19回のワークショップを開催した。造形表現、身体表現、音楽、哲学対話など多様なプログラムを提供でき、人材育成という面でも登録パートナーの成長を実感できた。	7組のパートナーによる、前年度と同規模のプログラム数を実施予定。造形表現に比べて参加者の集まりにくい身体表現プログラムの周知・集客が課題。
	千葉市美術館	つくりかけラボ	a.イベント(不特定多数が参加)	「コミュニケーションがはじまる」、「五感でたのしむ」、「素材にふれる」、いずれかのテーマに沿った作品作りが可能なアーティストを招聘して行うプロジェクト。滞在制作を一般公開し、ラボの空間に合わせた新作インスタレーションの制作や、オープンワークショップの仕組みの開発、空間のデザインを、ラボを訪れた人々と関わりながら進めていく。		2020	未定	来場者のオープンワークショップなどを通した関わりによって空間が常に変化し続ける、クリエイティブな「つくりかけ」の状態がつくり出された。本事業のみを目当ての来場者だけでなく企画展の来場者もうまく取り込みたい。	前年度と同規模の事業を実施する予定。
東葛飾	松戸市戸定歴史館	戸定歴史館・市立博物館連携特別展「まつど×とくがわー昭武・武定の生きた明治・大正・昭和ー」	a.イベント(不特定多数が参加)	初めて松戸市立博物館と連携し、徳川昭武・武定をはじめとする戸定邸の人びとの営みについて双方の資料を用いて紹介するもの。学芸員講演会やワークショップなど子どもたちが楽しめる関連イベントも開催する。	松戸市教育委員会	2025	2025	初めて松戸市立博物館と連携し、徳川昭武・武定をはじめとする戸定邸の人びとの営みについて双方の資料を用いて紹介した。戸定邸、戸定歴史館、博物館全てのスタンプを集めた方にはトートバッグをプレゼントするスタンプラリーも同時開催し、市の歴史施設を知ってもらうことで郷土への愛着を深めていただけるよう、開催した。	実施予定無し、
		通常展「万博・博—1867/パリから、はじまる—」	a.イベント(不特定多数が参加)	徳川昭武と、彼の教育責任者としてパリに随行し、後に美術・博覧会行政の中心となった山高信離の視点から、1867年から1900年までの10回におよぶ万博を紹介した。	松戸市教育委員会	2025	2025	10月～1月を会期とした展示で、万博に関心が深いお客様から好評を得た。期間が長く、多くの来館者に訪れていただき徳川昭武の周知に繋がったが、寒い時期の来館者が少ないことが課題である。	企画展は実施予定。気候に影響されない来館者獲得が課題である。グッズ販売やイベントの拡充をはかる予定である。
	公益財団法人高梨本家 上花輪歴史館	日本桜草古式花壇飾り	a.イベント(不特定多数が参加)	市内有志の方の育てた桜草を、弊館所蔵の古式花壇に展示。		1998		4月の土日2日間の開催。近年は有志の高齢化にともない桜草会が解散されたため、個人の立場でご協力を頂いている。昨年より、桜草運搬など、より弊館職員の関わりを増やして有志のご負担を減らすようにしている。毎年、今年が最後と思いながら継続(来年以降も可能な限り継続)。	有志の方の体調次第ではあるが、来年も継続予定。
		『秋の月に寄せて～藝大卒業生による箏・笛・小鼓(打ち物)』	d.舞台公演・コンサート	弊館書院にて、音楽演奏および邦楽解説。		2026	2026	会場満席の盛況かつ会場からの邦楽奏者たちへの質問も活発で非常に有意義な会であった。一方、建造物保護の観点から、この規模の会を頻繁に開催することは望ましくないと考える。	定員を削減した上で、今年も開催予定。昨年は平日開催であったため本年は日曜開催とし、新規客層開拓を狙う。
	松戸市立博物館	戸定歴史館・市立博物館連携特別展「まつど×とくがわー昭武・武定の生きた明治・大正・昭和ー」	a.イベント(不特定多数が参加)	初めて戸定歴史館と連携し、徳川昭武・武定をはじめとする戸定邸の人びとの営みについて双方の資料を用いて紹介するもの。学芸員講演会やワークショップなど子どもたちが楽しめる関連イベントも開催する。		2025	2025	初めて戸定歴史館と連携し、徳川昭武・武定をはじめとする戸定邸の人びとの営みについて双方の資料を用いて紹介した。戸定邸、戸定歴史館、博物館全てのスタンプを集めた方にはトートバッグをプレゼントするスタンプラリーも同時開催し、市の歴史施設を知ってもらうことで郷土への愛着を深めていただけるよう、開催した。	
		館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼-人生の始まり方 終い方-」	a.イベント(不特定多数が参加)	人が誕生し、結婚し、老い、死を迎え先祖にまつられるまでの人生における様々な儀礼をとおり、地域社会で培われてきた人々の営みについて紹介する。		2025	2025	子どもに分かり易い漫画デザインを用いたリーフレットや、展示テーマである「誕生・結婚・死」にまつわる「人生儀礼焼菓子」をオリジナルグッズとして販売し、「人生の格言くじ」を付けるなど、子どもから大人まで楽しめる企画を盛り込んだ。	特別資料展・「てきおう！先史松戸の生存戦略」「牧を駆ける・野馬奉行・牧士・村人たち-」
北総	千葉県立房総のむら	歴史の里の音楽会	d.舞台公演・コンサート	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、本県の芸術文化の普及振興に資することを目的に千葉県・千葉交響楽団と連携し、音楽会を開催している。併せて、旧学習院初等科正堂(国重要文化財)を活用することにより、文化財についての理解を深める。	千葉交響楽団	2004	2028	令和7年度は10月13日(月・祝)に実施した。参加者は97名でおよそ例年並みの参加であった。課題としては、定員が200名の会場なので、もう少し参加者を増やしたい。	10月4日(日)に開催予定。早くからの広報や予約の受付を開始して参加者を募りたい。曲目についても、クラシック曲ばかりではなく、子供向けのキャッチーなものも取り入れ、バランスよくプログラムを編成したい。
	佐倉市立美術館	漫画家生活30周年 こうの史代展	f.作品の公募・展示	絵本等をテーマにした展覧会を継続的に開催している。令和7年度は、漫画家こうの史代の展覧会を開催した。		2025	2025	市内外から多くの来館者が訪れたことにより、文化芸術に親しむ機会を提供するだけでなく、地域の賑わい創出に寄与することにも繋がった。引き続き、情報発信の強化が課題となっている。	近隣に所在する同市の図書館との連携の一環として、絵本等をテーマにした展覧会を開催する。なお、予算削減により展覧会開催数が減少し、施設の機能を十分に活用することが難しい状況となっている。
		広野多珂子 絵本原画展	f.作品の公募・展示	当市ゆかりの作家として、当市在住の絵本作家広野多珂子の作品を紹介した。		2025	2025	当市ゆかりの作家として、当市在住の絵本作家の作品を紹介した。なにげない日常を作品の主なテーマとする中で、地域の風景や暮らしをモチーフにした作品を通して、地域への新しい視点や魅力を伝えることにもつながっている。	近隣に所在する同市の図書館との連携の一環として、絵本等をテーマにした展覧会を開催する。なお、予算削減により展覧会開催数が減少し、施設の機能を十分に活用することが難しい状況となっている。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	美術収蔵品展	f.作品の公募・展示	当館では、常設展示という位置づけではなく、各美術収蔵品展にテーマを設定し、内容を絞り込んだ展覧会を開催している。令和7年度は計10回の美術収蔵品展を開催した。また、バーチャルミュージアム映像として、すべての美術収蔵品展の会場の映像配信も行い、誰もが鑑賞できる機会を提供した。(美術企画展は開催なし)		1994		各収蔵品展で、同じ作品を何度も展示しないよう、なるべく数年の間隔を空け、また新収蔵資料を優先して展示するなど、展示サイクルの設定に最も工夫している。入館者数はコロナ禍以降で最多となり、増加傾向にある。	令和8年度には美術収蔵品展9回を開催予定で、今後も継続してゆく。(美術企画展は開催なし。)
		共催展示	f.作品の公募・展示	市内の芸術文化団体の展示、発表の機会を提供するため、絵画・書道・写真等の各団体の展示を共催展示として開催している。令和7年度には、全17団体展覧会を開催した。また、すべての共催展示についてもバーチャルミュージアム映像の配信を行い、誰もが鑑賞できる機会を提供した。	当館共催団体協議会他	1994		展覧会を開催し、作品発表の機会を提供することは、地域の芸術文化の振興を図る上で有意義であったと考えている。なお、各団体を構成する会員数が減少傾向にある点は課題であるが、入管者数はコロナ禍以降では最多となり、増加傾向にある。	令和8年度には、全17団体の展覧会の開催を計画しており、今後も継続してゆく。
	城西国際大学水田美術館	浮世絵にみるよそおい② 江戸のモード	a.イベント(不特定多数が参加)	浮世絵から着物のデザインや着こなし、小物使いを紹介し、当時の着物と装身具を展示		2025	2025	江戸時代の服飾文化に触れてもらう機会となった。	
		浮世絵のヒットメーカー 蔦屋重三郎と版元たち	a.イベント(不特定多数が参加)	複数の版元に焦点を当てながら、江戸から明治の浮世絵版画を紹介		2025	2025	3週間と短い会期だったが、多くの入館者に来場いただいた。	

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
南房総	館山市立博物館	企画展解説動画の制作・公開	j.その他	市立博物館において実施した企画展について、担当学芸員が概要・見どころを解説する動画(字幕入り)1本を制作・公開した。※⑧参加者数は動画の視聴回数(令和8年5月17日時点)。		2020		自宅・学校で利用できる学習ツールとして制作・公開した。字幕入りの動画は、聴覚障がい者の方からも理解しやすかったとの感想を得ている。	年1回開催する企画展の動画を制作・公開する予定である。
	千葉大学海洋バイオシステム研究センター	磯の生物観察会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	磯の生物観察会	鴨川市	2000		普段直接海洋生物に触れることがほぼないため、参加者や父兄から良い経験になった、生物に興味が湧いてきた、等の評価を得ています。	6月20日予定
かずさ・臨海	市原歴史博物館	展示事業	f.作品の公募・展示	市原市の歴史に関する実物資料、映像、パネル等を常設展示するほか、収蔵資料や様々なテーマに沿った資料を展示する企画展示を行う。	ふるさと市原をつなぐ連絡会	2022		市原市の歴史遺産の魅力を多くの来館者に知っていただくことができた。	常設展を通年、特別展を年1回、企画展を年4回、ミニ展示を年2回開催予定
		令和7年度特別講演会	e.講演会・研修会・シンポジウム	令和7年度市原歴史博物館特別展「うまれかわりの旅―いちはらと出羽三山信仰―」の関連事業として、「なぜ出羽三山を目指すのか」と題して、元文化庁主任文化財調査官原田昌幸氏と市原歴史博物館協議会長の立野晃氏を講師に特別講演会を実施。		2023		市内外から多くの参加があり、江戸時代から約400年にわたって続けられてきた市内の出羽三山信仰の意義と価値を広く伝えることができた。	館蔵資料の重要文化財指定決定を受け、関連テーマにより実施する特別展において、シンポジウム形式により実施予定。

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱1②】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

障害者の文化芸術活動(特別支援教育における文化芸術活動を除く)の推進

障害者による文化芸術活動に係る取組や事業の実施状況について

(1)主催(アウトリーチ含む)事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	4	10.0
実施していない	36	90.0
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	75.0
東葛飾	0	0.0
北総	0	0.0
九十九里	1	25.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の内容

事業の内容	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
鑑賞(障害のある人が鑑賞する)	1	25.0
創造(障害のある人が作品を作る)	1	25.0
発表(障害のある人が作品を発表する)	2	50.0
交流(障害のある人となない人が交流する)	0	0.0
人材育成(障害のある人の文化芸術活動を支援する人材を育成する)	0	0.0
その他	0	0.0

(2) 障害者による文化芸術活動に係る取組や事業を実施していない理由(複数回答可)

	障害者に対応するための設備導入や事業を実施するための財源が確保できない	障害者に対応するための設備が整備されていない	障害者に対応するための知識や技術を持つ人材がいない/足りない	障害者に対して具体的にどのような設備や事業が必要となるか、どのような対応をしたらよいかわからない	その他	特に課題はない	計
回答数	21	14	25	12	4	3	79

(3)障害のある人を対象とした事業を実施する上での課題(複数回答可)

	障害者に対応するための設備導入や事業を実施するための財源の確保	障害者に対応するための設備の整備	障害者に対応するための知識や技術を持つ人材の不足	その他	特に課題はない	計
回答数	2	2	3	1	0	8

【柱1②】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

障害者の文化芸術活動(特別支援教育における文化芸術活動を除く)の推進

障害者による文化芸術活動に係る取組や事業について
(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の分野	事業の内容	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	事業の概要	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立現代産業科学館	出張講座	その他	創造 (障害のある人が作品を作る)		2007		だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことのできる場を提供することを目的としておこなう、出張科学工作教室。特別支援学校などでも実施している。	特に特別支援学校などの障害者団体を対象としている事業ではないが、簡単な科学工作なので特別支援学校からの要望もある。令和7年度は特別支援学校(小・中)3校で実施した。課題としては、障害の程度によって、より細やかな対応が必要なものがあるので、今後検討が必要である。	令和8年度は、現在のところ1団体(特別支援学校)から要望を受けている。工作内容は先方と相談しながら決めていく予定である。
	千葉市動物公園	ドリームデイ・アット・ザ・ズー	その他	鑑賞 (障害のある人が鑑賞する)	ジブラルタ生命保険株式会社 淑徳大学、株式会社GENDA GiGO Entertainment、園内事業者	2010		障害のある子どもとご家族を無料招待し、園内を散策、観覧いただく。	天候不順により参加者が少なかったが、参加者からは好評であった。	令和8年度の開催を検討中。
	千葉市美術館	市民ギャラリーの団体への貸出(減免)	美術 (絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)	発表 (障害のある人が作品を発表する)	千葉幕張ロータリー倶楽部、一般社団法人 千葉市身体障害者連合会ほか	2000		「アートフレンズ展」「千葉市障害者作品展」等、障害のある人々の作品発表の場として、市民ギャラリーを優遇して貸出(使用料の減免)している。	「アートフレンズ展」は約400点の作品を展示。例年メディア等での注目があり、千葉市長をはじめ、出品者以外の一般の鑑賞者も多い団体展となっている。	「アートフレンズ展」は5月に開催、「千葉市障害者作品展」は10月に開催。
九十九里	城西国際大学水田美術館	第3回 風のアール・ブリュット コロ・ポリリズムJIU	美術 (絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)	発表 (障害のある人が作品を発表する)	城西国際大学域学共創プロジェクトA、社会福祉法人生活クラブ、株式会社いろだま	2023		本学の域学共創プロジェクトでは「生活クラブ風の村 アール・ブリュット事業」に参加し、作品制作を通じて障がいのある方々と学生、地域をつなげる活動を行っている。その活動と障がいの作品を紹介。	事業に携わった本学学生の学びにもつながった。	

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱1③】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

こどもたちが文化芸術に触れ親しむための環境づくり 学校教育における文化芸術活動の充実
こども・若者が文化芸術活動に参加し、自己表現できる機会の提供

1 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした事業について

(1)事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	25	62.5
実施していない	15	37.5
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	9	36.0
東葛飾	5	20.0
北総	4	16.0
九十九里	3	12.0
南房総	2	8.0
かずさ・臨海	2	8.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	8	32.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	10	40.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	6	24.0
d.舞台公演・コンサート	2	8.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	4.0
f.作品の公募・展示	4	16.0
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	4	16.0

※実施事業を2つ回答した施設があるため、回答数(C)の合計は回答数(A)を超える。

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	11	10	5	6	1	0	5	3	41

【h.その他】の概要(抜粋)

・新型コロナの流行等の影響から、参加校が減少したままとなっている

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	4	6	3	4	0	2	0	5	24

【h.その他】の概要(抜粋)

・文化施設ではないため実施事業が限定される

2 若者による文化芸術活動の支援を目的とした事業について

(1)事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	6	15.0
実施していない	34	85.0
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	4	66.7
東葛飾	0	0.0
北総	1	16.7
九十九里	1	16.7
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	3	50.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	16.7
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	2	33.3
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	1	4.0

※実施事業を2つ回答した施設があるため、回答数(C)の合計は回答数(A)を超える。

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	3	3	1	0	0	0	0	1	8

【h.その他】の概要(抜粋)

・担当者の不足

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	9	16	15	8	4	7	0	8	67

【h.その他】の概要(抜粋)

・館の方針と異なるため
・若者向けと銘打った企画はしていないが、若者へ門戸を閉ざしているわけではない

【柱1③】県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	船橋市郷土資料館	企画展「船橋のこどもたち」	a.イベント(不特定多数が参加)	船橋で育った「こども」に関する資料や調査・研究の成果を、時代による変化に注目しつつ紹介する。 絵本、玩具、教材・教具を体験できるコーナーを設け、乳幼児連れでも入室しやすい展示構成を行った。	あそびっこふななら(市民団体)、船橋市学校栄養士会	2025	2025	来館者アンケートの満足度は例年と比較して高いものだった。これは体験型展示を多く配置し、子どもも大人も楽しめるコンセプトが功を奏したと言える。 半面、来場者数は減少したため、広報活動や情報発信にさらなる注力が必要である。	令和8年度は館内施設の改修工事が入るため、半年以上の休館期間が発生している。 限られた時間制約の中でテーマを厳選し、事業を進めていく必要があると考えている。
	市立市川考古博物館	縄文出張授業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学芸員が実物資料を持参して学校を訪問し、資料を見せながら縄文時代や貝塚を詳しく説明する。以前は来館型を主としていたが、コロナ禍を契機に出張型を原則としている。		2002		12校、992人であった。教員の負担軽減志向のためか、来館型だけでなく出張型も依頼数が減少している。	教育効果が高い来館型を推奨する形式で実施する。
		学校巡回展「直刀出土の山崎さんちはどこに？」	f.作品の公募・展示	博物館で来館者を待つのではなく、博物館が資料を持ち出し外部で展示し、古代の文化を周知する事業。主に小学校などの公共施設で開催している。		2024	2025	市内小・中学校4校を巡回し、郷土の出土資料に対する関心を持たせることができた。また、1校から出土地探索の手がかりとなる情報が寄せられた。	国史跡の貝塚に内容を変更して開催する予定である。
	千葉県立美術館	ぐるぐる？アート夏やすみ	a.イベント(不特定多数が参加)	アトリエを開放し、子どもたちがいつでも図工・美術の宿題をできる場を提供。合わせて、アーティストワークショップ等を開催し、子どもたちが美術館に親しみを持てる、美術館を楽しめるプログラムを展開する。		2025			令和8年度も「ぐるぐる？アート夏やすみ2026」として開催予定。令和7年度は広報が遅くなってしまったため、チラシの作成・配布を早める。
	千葉県立中央博物館	五月飾りをつくろう	a.イベント(不特定多数が参加)	子どもの健やかな成長を願って飾るかぶとやこいのぼりを作る。端午の節句についてのミニ解説を実施。	なし	2025	2025	五月飾りや、端午の節句について触れる機会を提供することができた。	令和8年度も実施
		たなばた飾りをつくろう	a.イベント(不特定多数が参加)	七夕飾りをつくり、短冊に願い事を書いて笹竹に飾るイベント。七夕の行事についてのミニ解説を実施。	なし	2025	2025	七夕飾りや、七夕の行事について触れる機会を提供することができた。	令和8年度も実施
	千葉県立現代産業科学館	科学館わくわく教室	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	だれもが産業に应用された科学技術を体験的に学ぶことのできる場を提供することを目的とし、小・中学生の科学に関する興味・関心を高めるための科学工作教室。				年間で21回の事業を実施した。 非常に人気の行事で、事前申し込み、応募者多数の場合は抽選としてきた。多い時には、定員の数倍になることもあった。そのため、定員を増やすなどの取り組みをおこなった。	令和7年度同様、21回の実施を計画している。 事前申込み制で令和8年度からは先着順としたが、人気の内容の際には、予約開始30分未満でうまってしまった。
		出張講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	小・中学校等の依頼により児童・生徒又はその指導者を対象として、科学教室及び工作教室を館外で実施				参加者はみな楽しんで参加してくれている。満足度の高い事業である。	非常に人気のある事業で、予約開始数日で予定の実施日数に達してしまっった。新規の団体に対応できないか検討していく。
	浦安市郷土博物館	博学連携事業(伝統文化出前講座)	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会の協力により、学校への出前講座を行っている。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会	2001		浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会による、小学校3・4年生を対象とした伝統文化の出前講座を計7回実施し、小学生が浦安の伝統芸能である浦安囃子に触れる機会となった。	令和7年度に引き続き、伝統文化の出前講座を行っていく。
	浦安市郷土博物館	スペシャルジュニア学芸員講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	浦安お洒落保存会の協力により、子どもボランティア「ジュニア学芸員」がお洒落踊りを体験する。	浦安お洒落保存会	2023		本講座をきっかけに浦安お洒落保存会に入会し、継続的に浦安の伝統芸能を伝えるための活動を行う児童生徒が増加しており、子ども・若者が伝統芸能に触れる機会を提供することができた。	令和7年度に引き続き行っていく。
	千葉市動物公園	オンライン授業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	園と学校を繋ぎ、小中学生を対象としたオンライン授業を行う。	—	2020		小学校の児童に動物について知ってもらうきっかけとなり、有意義な学習の時間となった。	令和8年度も引き続き実施予定
	千葉経済大学地域経済博物館	博物館実習	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	千葉経済大学学芸員課程で行われる「博物館実習」(館園実習含む)、「調査実習」の受け入れ。	なし	2010	なし	令和7年度は9名の学生を受け入れ、実習を行った。資料の取り扱い・整理方法などを教示し、学生にとって有意義な実習を行うことができた。	前年度と同様に実施する。
	千葉市美術館	鑑賞教育プログラム「みる・しる・できるびじゅつプログラム」	j.その他	学校団体来館の受け入れ。「鑑賞」「表現」「体験」からなるプログラムを用意し、市民ボランティアとも連携しながら多様な鑑賞教育の実現を目指す。	主に千葉市立小・中・中等教育(前期課程)・特別支援学校	2003	未定		前年度と同規模の実施を予定。新規参加校がなかなか増えないことから、学校がより参加しやすい仕組みや周知の仕方を検討したい。

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
東葛飾	野田市郷土博物館	親と子の茶道講座 風格ある茶室でお抹茶体験！	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	茶室で実際のお茶室での作法を学び、松の間ではお茶のたて方などを学んでもらった。	野田市茶道協会	2025			同様に実施予定。
	松戸市戸定歴史館	戸定アートプロジェクト(コンサート)	d.舞台公演・コンサート	国指定重要文化財「戸定邸」を会場に、クラシック等のコンサートを実施し、幅広い層への総合的生涯学習の浸透をはかる		2009		コンサートを2回実施したが、各回150名を超えるお客様が入り室内に入りきれないほど盛況だった。戸定邸という文化財で聴くという体験が好評を得た。また、子供連れでも本格的な音楽鑑賞をできるということも好評を得た。	コンサートを実施予定。予算削減の中でイベントの質を維持することが課題。また、座敷の受け入れ体制もより良い鑑賞環境を検討したい。
		出前授業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学習支援専門員(元小学校教諭)を各学校へ派遣し、紙芝居やタブレット端末を活用して文化財の解説や徳川昭武の紹介を行う。		2020		元教員という実績と能力を活かして対象年齢に合わせた解説を行った。タブレット端末を活用したVR体験や紙芝居など、独自コンテンツを取り入れた地域学習の授業は、派遣先の児童生徒、担当教員からも好評を得ている。	学校への周知強化と学習素材のブラッシュアップに取り組む。
	松戸市立博物館	親も楽しむ米づくりと展示づくり-小学生学芸員になろう-	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	4月から12月まで一連の米づくり作業を親子で行い、子どもたちがその成果について発表するもの。	松戸市立博物館友の会	1994		昔ながらの方法で親子で米づくりを体験し、文化と食の大切さを体感できるもので毎年人気の講座である。子どもたちは自分なりにその成果について発表する場を得られて、喜んでいる様子がうかがえる。	継続
		博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	a.イベント(不特定多数が参加)	小学校3年生社会科カリキュラムに対応した展示で、100年ほど前の農家のくらしを展示し、その暮らしを小学生に体験してもらうもの。		2014		毎年多くの子どもたちが訪れ、昔の秤や、蚊帳の中で眠るなど、その暮らしを実体験できるもので、好評を得ている。	継続
	関宿城博物館	関宿城絵画コンクール作品展	f.作品の公募・展示	関宿城とその周辺を題材とした絵画作品を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品の展示会を行うことで、関宿城を理解し、博物館の活性化を図る。	千葉県立関宿城博物館友の会	2025	2025	・業務の省力化、デジタル化が図れた。 ・スケジュール設定は適切であった。 ・企画展セレモニーと期間が重複し、会場レイアウトに苦慮した。 ・募集を呼びかける先を精査するべき。	令和8年度も実施予定
	茂木本家美術館	美術館へ行こう！プロジェクト	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	美術館を体験していただくため、毎年野田市内の小学校4年生と中学校2年生と一緒に来館された保護者の入館を無料とし、来館を促している。		2022			今年度
北総	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	第40回はにわ祭	a.イベント(不特定多数が参加)	現代の人々が忘れている古代の心の豊かさや素晴らしさを振り返り、また思い起こすために1982年から始まった町内最大の祭。地元の小・中学生等が古代人に扮し、殿塚古墳・姫塚古墳をはじめ、芝山仁王尊・芝山公園等で儀式やパレードを実施。例年11月第2日曜日に実施。	芝山はにわ祭実行委員会	1982		午前中の天候不良の影響もあり、無料開放や体験教室等のイベントを実施したものの、当日の来館者は令和6年度を大きく下回った。	当館の主要展示品である殿塚古墳・姫塚古墳出土埴輪の発掘70周年の節目の開催となることから、昨年度に引き続き関係機関と連携してイベントの新規追加や規模拡大を検討。
	佐倉市立美術館	アートプロジェクト(出前授業、美術館訪問)	j.その他	鑑賞コミュニケーターによる対話型美術鑑賞を市民団体への委託により実施している。市内小中学校における出前授業及び美術館訪問等を行った。		2013		長期的な事業実施に不可欠となる人材の育成等	引き続き実施
	伊能忠敬記念館	夏休み体験教室「忠敬の地図作りにブチ・チャレ！」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	小中学生の子供たちを対象として、伊能忠敬が行った方法での測量と地図作りを行うワークショップ。	なし	2013		記念館を会場としたおかげでワークショップの理解度が高まり、ワークショップの目的である測量体験を印象付けることが出来た。	令和8年度は「伊能忠敬の天体観測」を題材としたワークショップを実施予定である。
	伊能忠敬記念館	佐原小学校「忠敬祭」における出前授業	e.講演会・研修会・シンポジウム	近隣の佐原小学校に出向き、小学4年生を対象とした講話とワークショップを行う	香取市立佐原小学校	2006		学校教員と事前の打ち合わせを行ったおかげでスムーズな進行となり、次年度以降も学校側と綿密な打ち合わせを行っていきたい。	令和8年度も実施予定である
	大原幽学記念館	夏休み体験講座「まが玉づくり」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内小学生を対象に、夏休み期間に親子向け体験講座として、勾玉づくりを実施し、歴史に親しみ、興味、関心をもってもらう。					
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市文化祭 小中美術展、小中書写展、幼稚園・保育所美術展、塾書道展	f.作品の公募・展示	茂原市文化祭の一環として、生涯学習課と連携し開催。		1994		「茂原市文化祭」として開催するため、教育施策上、有意義な事業である。入館者数はコロナ禍以前に回復し、増加傾向にある。	開催日程については、生涯学習課を通じて、学校側の要望に沿って実施予定であり、今後も継続してゆく。
		第3回 もばら子どもギャラリー	f.作品の公募・展示	茂原市内の0歳～中学3年生までの子どもたちからの公募作品をすべて展示する展覧会で、前回よりも出品対象年齢を拡大した。バーチャルミュージアム映像として、会場の映像配信も行った。		2023		第3回目となる令和7年度は、出品者数169名、作品数178点で、前回に比して作品数の現象があったが、出品者数は横這いである。次代を担う子どもたちに、当館に親しんでもらう上で、大きな意義のある事業と考える。	令和8年度は、作品受付期間についての要望を受け、受付期間と、会期を変更の上、昨年同様に開催し、継続してゆく予定である。

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
九十九里	大網白里市デジタル博物館	子ども考古学教室	j.その他	デジタル博物館の原始・古代の資料を子ども向けコンテンツとして公開している。このコンテンツは市内外の小学校等で活用されている。		2023		令和7年度は8,246件のアクセスがあった。また市内の小中学校でも活用された。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
	城西国際大学水田美術館	城西国際大学メディア学部ニューメディアコース卒業制作優秀展2025	a.イベント(不特定多数が参加)	2024年度卒業生の卒業制作の中からアニメーション、ドラマ、VRゲーム、プロダクトデザイン等を展示	城西国際大学メディア学部	2005		学生の学習成果を発表することができた。	3月に実施予定
南房総	館山市立博物館	ふるさと講座プラスキッズ版「海上自衛隊館山航空基地を見学しよう」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	館山市中央公民館と連携しふるさと講座の子ども向け版を開催した。海上自衛隊館山航空基地の見学と博物館の見学を行った。	館山市中央公民館、海上自衛隊館山航空基地	2026	2026	子どもたちが身近な歴史に関心を持つ機会となった。今回は子どものみを対象としたが、大人からの見学への要望もあり、次年度以降の課題としたい。	大人向け講座の開催。
		赤山地下壕跡演奏会	d.舞台公演・コンサート	館山市教育委員会生涯学習課と連携し、館山海軍航空隊赤山地下壕跡にて千葉県立安房高等学校ギター部による演奏を行った。演奏後、高校生や参加者を対象に担当学芸員による赤山地下壕跡内の説明を行った。	館山市教育委員会生涯学習課、安房高等学校ギター部	2026	2026	高校生が戦争遺跡での演奏と見学を通じて、地域の戦争の歴史について学び、平和について考える契機となった。	なし。
	鴨川シーワールド	ファンクラブツアー	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	芸能人とそのファンクラブが施設を利用しイベントなどをおこなう	ツアー会社				実施予定
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	博学融合事業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	市内小学生の授業における博物館の活用に対応、協力する。要望により館保有の資料を用いた出前授業を行う。				市内の多くの学校から依頼をうけ事業を実施できた。前年度より1件の増加。小学校以外の中学校の利用がなく、その点は課題である。	令和8年度も引き続き実施予定である。小学校以外へのアプローチなど広く学校教育に活用してもらうことが課題である。
		夏休み体験講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み中に実施する体験講座。本物の資料に触れたり、実際に作ったりする体験を通じて、歴史や文化への興味や関心を高める機会とするもの。				話を聞くだけではなく、資料に触れる体験などを通じて地域の文化に興味をもってもらえるものとなった。館の規模が小さく参加者人数を制限しなくてはならない課題を、実施講座数を増やし多少改善することができた。	令和8年度も引き続き実施予定である。
	市原歴史博物館	体験プログラム	a.イベント(不特定多数が参加)	土日祝日等を中心に、市原市の歴史や文化財に関連する様々な体験プログラムを開催。		2022		発掘体験や火起こし体験、勾玉づくり体験等、様々な体験学習を通じて、歴史文化への理解を深めるきっかけを創出した。	令和8年度も引き続き実施予定だが、通常体験メニューに加えて、企画展テーマ等に関連した新規体験メニューを開発しながら実施する予定。

2 若者による文化芸術活動の支援を目的とした事業について

(3)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	研修事業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	中学校の職場体験、県庁の高校生インターンシップ、大学生を対象とした博物館実習など。	各大学				令和8年度も継続して実施予定である。
	千葉県立現代産業科学館	県立市川工業高等学校連携事業	a.イベント(不特定多数が参加)	市川工業高等学校インテリアデザイン部、インテリア科の生徒による作品展の企画、制作、施工及び展示などを通して、地域の地域の学校に対する博物館の教育機能の提供と県民による博物館の利用促進を図る。		2012		イベント当日大雪になり、中止についての連絡体制が整っていなかったことが課題	部活動の生徒の減少等にともない、事業縮小の予定
		木更津高専連携事業	a.イベント(不特定多数が参加)	木更津高専と連携し、ロボット操縦体験、科学工作教室、プログラミング講座、学校説明会を実施		2007		参加者はみな楽しんで参加してくれている。科学工作は毎年新しいプログラムとなっており、リピーターにも好評である。	今年度もロボット操縦体験、科学工作教室、プログラミング講座、学校説明会を実施予定
	千葉市動物公園	ちばZOOフェスタ	a.イベント(不特定多数が参加)	動物に関する研究発表や、地域の子どもたちによるダンス等のステージパフォーマンスを行う、文化祭的なイベント。	園内事業者等	2009		3日間で2万人超の来園があり、多くの方楽しんでいただくことができた。	令和8年度も実施予定。
	千葉市美術館	「びじゅつライブラリー」(4階図書室の活用)	j.その他	美術を中心に多様な図書約5,000冊を常時開架し、幅広い来館者の利用に応える美術図書室として通年で開室。子ども向け・若年層向けの選書を強化し、展示室や他の諸室とも連動したイベントの開催により、美術情報の発信・交流基地として地域の文化的環境づくりに努めている。		2020	未定		前年度に引き続き、幅広い来館者の利用に応える。子ども向け・若年層向けの選書を強化し、展示室や他の諸室とも連動したイベントの開催により、美術情報の発信・交流基地として地域の文化的環境づくりに貢献する。
北総	佐倉市立美術館	女子美術大学 創立125周年記念 日本画作品展「美粒子」	f.作品の公募・展示	佐倉市と連携協働に関する協定を締結している女子美術大学の日本画専攻在学生及び卒業生の作品展。		2025	2025	若い世代の情報発信及び交流の機会を提供することにより、新たな文化交流の機会創出につながっている。	引き続き実施予定
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	共催展示 市内高校合同美術展	f.作品の公募・展示	市内の公立高校2校の美術部生徒の作品発表の場として、作品の展示配置や作業を生徒たちが行って開催。高校生と美術館学芸員との対話の機会を設け、意見を聞き取った。また、バーチャルミュージアム映像として会場の映像配信も行った。	市内高校合同美術展事務局	1994		若い世代の創作発表の機会として有意義な事業であると考えている。学芸員と高校生との対話の際に聞き取った意見の中には、良い意見があったため、今後の当館の事業に活かしてゆけるよう検討したい。	令和8年度は、計画どおり令和9年1月15日～1月20日に開催予定。今後も継続してゆく。

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱2】文化芸術を通じた連携・協働

～文化芸術を通じたネットワークの構築や他分野との連携を行うことで地域の活性化を目指します～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した主催事業について

(1) 主催事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	22	55.0
実施していない	18	45.0
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	10	45.5
東葛飾	4	18.2
北総	3	13.6
九十九里	2	9.1
南房総	2	9.1
かずさ・臨海	1	4.5

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	6	27.3
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	6	27.3
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	2	9.1
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	4.5
f. 作品の公募・展示	3	13.6
g. キャンペーン	2	9.1
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	9.1

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	10	12	3	8	1	0	3	3	40

【h. その他】の概要(抜粋)

特になし

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	6	7	6	1	2	5	0	4	31

【h. その他】の概要(抜粋)

・文化施設ではないため実施事業が限定される
・観光協会と連携したバスツアーを企画したが、最少催行人数に達せず実施されなかった

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)主催事業について

(1)主催事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	3	7.5
実施していない	37	92.5
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ペイ	2	66.7
東葛飾	1	33.3
北総	0	0.0
九十九里	0	0.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	1	33.3
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	1	33.3
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	1	33.3
j.その他	0	0.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	1	3	2	1	0	0	0	1	8

【h.その他】の概要(抜粋)

・海外経費の高騰、円安による支出増大
・他部署との連携事業だが、関係者が過密スケジュールでの準備に終始しており、本来の分担以上の業務負担を担っている

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	13	16	16	6	5	7	0	5	68

【h.その他】の概要(抜粋)

・文化施設ではないため実施事業が限定される

【柱2】文化芸術を通じた連携・協働

～文化芸術を通じたネットワークの構築や他分野との連携を行うことで地域の活性化を目指します～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した主催事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県加曽利貝塚博物館	特別史跡加曽利貝塚縄文ナイト&東京湾ランチクルーズ	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	本事業では、『約5000年前の原始時代にタイムトラベルする非日常体験のアドベンチャーツアーリズム』として、特別史跡「加曽利貝塚」を最大限に活かし、東京湾に面した海辺エリアや内陸の里山エリアの点在する観光名所と連動させた旅行パッケージのモニターツアーが行われたもの。	実施主体:(公社)千葉県観光協会			参加者アンケートの結果は好評であった。	同様の事業が実施されるようであれば、都度検討し、受け入れ対応可能か判断する。
	市立市川考古博物館	アイリンクタウン歴史年表設置、歴史年表クイズ	f.作品の公募・展示	歴史年表は市川駅に隣接した標高150mのアイリンクタウン展望施設に設置している。令和7年度は庁内関連部署の協力により、電子フォームを活用したクイズを掲載して、回答しながら学ぶ仕組みを取り入れた。参加者にはデジタル地域通貨ICHICOを100ポイント差し上げた。	歴史博物館、観光振興課、デジタル地域通貨推進室	2023	未定	CHICOを利用していない市民や市外在住の見学者を考慮すると、相当数の来場者が年表を見学してくださったと考えられる。	新年度も実施する。設問の難しさを指摘するアンケート回答が少なかつたため、難易度を下げて選択式の問題とする。また、解答とともに解説を詳しく表示して、学習の助けにしたい。
	千葉県立美術館	ZOZOのワークショップ「Tシャツでエコバッグをつくろう！」	a.イベント(不特定多数が参加)	株式会社ZOZOにご提供いただいた古着を使って、エコバッグを作るワークショップ。無料で開催した。	株式会社ZOZO	2024			株式会社ZOZOとはワークショップのプログラムで引き続き連携を検討している。
	市立市川歴史博物館	学校連携学習資料展「発見・体験 昔の暮らし」	j.その他	小学校3年生向けに学習单元である昔のくらしに合わせて昭和30年から50年代の生活の様子や使っていた道具について展示・解説を行っている。				市内外小学校の見学校数は20校。おおむね好評であるが、滞在時間の短さから説明より体験を重視する意見が出ている。	令和8年9月5日～12月27日まで実施。例年より会期が短いため、市内全校・近隣市外学校に通知。期間内に来館できない学校に対しては、出張授業で対応。
	千葉県立現代産業科学館	展示・運営協力会、実験・工作教室・サイエンスショー「これでわかった！未来の技術 最先端テクノロジーにふれてみよう！」	a.イベント(不特定多数が参加)	当館の展示及びこれに関わる教育普及・調査研究等の活動をより発展させるため、館の趣旨に賛同し、専門知識を有する団体及び個人が、館の行う科学技術の普及に対し、支援及び助言を行っている。館の常設展示に関する技術的指導や情報提供等を行ったほか、展示物の提供や展示のための調査・研究活動に対する支援、助言を行った。また、会員が専門とする分野に関する実験や工作を参加者型の方法で実施した。	千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会	1999		展示会は14の会員団体の出展、実験・工作教室は9会員。サイエンスショーは5会員が実施。展示会への来館者も多く、実験・工作教室やサイエンスショーも家族連れなど幅広い年齢層が参加し、好評を得た。	8月8日(土)～23日(日)に14の会員団体が出展する展示会を開催するとともに、通年で8会員の実験・工作教室、5会員のサイエンスショーの開催を予定している。
	八千代市立郷土博物館	夏休み特別企画「牛乳 パックで野球帽をつくろう」	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	牛乳パックから野球帽を作る	睦公民館・コーシン乳業㈱	2024		参加者にはおおむね好評であったが、左利き用のハサミが無かったなど課題もあった。	同様の内容で実施予定
	浦安市郷土博物館	博学連携事業	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	浦安市郷土博物館の基本コンセプトの一つである「学校教育に活かせる博物館」を指標として、学校と連携した体験活動・出前講座を行っている。		2001		市立全小学校3年生が「昔のくらし体験」を、小学校4年生が「海苔すき体験」を実施したほか、幼稚園・認定こども園・保育園の体験活動、中学生の職場体験等を実施し、博物館での体験、学校への出前授業、博物館収蔵品を活用した授業、ホームページの動画や資料を活用した授業等、博学連携の形の多様化とその充実が図られてきた。	令和7年度に引き続き事業を実施し、活動の充実に努めていく。
	千葉市動物公園	千葉国際芸術祭への参画	g.キャンペーン	千葉国際芸術祭の企画に参画し、ワークショップの開催やARを活用した企画展示の場として園内を提供した。	千葉市ほか	2025	2025	園としては展示場所として園内を提供する形となったが、参加者からは好評であった。	実施予定なし
	千葉経済大学地域経済博物館	千葉経済大学・千葉市立郷土博物館共同開催「歴史講座」(全1回)	e.講演会・研修会・シンポジウム	千葉の歴史や文化について、広く市民が理解を深めることを目的に講座を実施する。令和7年度は、「千葉市と城館一住まう・治める・戦うー」をテーマとして取り上げた。	千葉市立郷土博物館	2017	なし	千葉市立郷土博物館の特別展と連動して実施し、募集定員を大きく上回る参加申込みを得た。多くの市民に千葉の歴史や文化について知ってもらう機会となった。	前年度と同様に実施予定。
	千葉市美術館	企画展「千葉美術散歩」(展覧会関連の催しなど、各種あり)	a.イベント(不特定多数が参加)	「千葉美術散歩」展は、地元のコレクションや、旧制千葉中学(現県立千葉中学・高等学校)などについて取り上げ、地域史を掘り起こした。本展以外の連携例)地元同窓会との連携／観光キャンペーンとの連携(JRなどとのイベント)／鑑賞ツアーイベント／地域イベントへの参加／手話通訳付きの講演会事業／博物館実習や職場体験への対応／託児サービスなど)		2005	2005		

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
東葛飾	野田市郷土博物館	スタンプラリー「野田で富士山めぐり～展覧会と「浅間様」へ行ってみよう～」	a.イベント(不特定多数が参加)	市内の6施設を会場に、富士山に親しむことができる場所や、展覧会をめぐるスタンプラリーを開催。	千葉県立関宿城博物館、野田市関根名人記念館、清水公園、茂木本家美術館、東京理科大学なるほど科学体験館	2025	2025		なし
	流山市立博物館	流山をA・RU・KU	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	観光部局が主催し、流山本町や利根運河周辺の文化財巡りを実施する。	NPO法人 グローバル流山			流山市内の歴史・文化財への理解が深化した。	流山本町(赤城神社や町並み)や利根運河周辺(運河や自然、ピリケン像)、東深井古墳と周辺の森など、文化財や自然を巡り、流山市の歴史・自然について学ぶ。
	松戸市戸定歴史館	戸定アートプロジェクト2025 四萬六千日献灯 松戸宿坂川献灯まつり 松龍寺光のアート	a.イベント(不特定多数が参加)	地元企業で構成される」実行委員会と連携・協力し、まつり会場の一部で地元アーティストの監修によるインスタレーション展示を行い、地域の魅力発見に貢献する。	松戸宿坂川献灯まつり実行委員会	2007		地域住民への周知が高まっている事業だが、主催事業ではないため、事業の進捗や連絡体制に課題が残る。一方で、同展示内で子どもを対象としたワークショップを行った。(2日目は雨天の為、中止)	光のアート(インスタレーション展示)とワークショップを開催する。主催事業ではないため、引き続き事業の進捗や連絡体制に課題が残る。
	松戸市立博物館	森のこども館はくぶつかんチーム	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2023年度から森のこども館と松戸市立博物館が連携して、「はくぶつかんチーム」を結成した。1年間の活動と通じて、「学ぶことは楽しいこと」「博物館はおもしろい場所」だと伝えていくことを目標に、松戸市内の小中学生を対象にチームメンバーを募集し、当館学芸員が講師となって1年間を通じて歴史と文化を自分の手で確かめながら学ぶプログラムに挑戦した。	森のこども館	2023		概ね目標を達成することができた。	一旦休止
北総	千葉県立房総のむら	博物館実習生(大学生)、インターンシップ(大学生、高校生)の受入	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学校との連携により校外学習、博物館実習生、インターンシップ、職場体験等を受け入れた。		1986		学校団体の見学(244校、15,238人)や、博物館実習(7人)、インターンシップ(7人)の受入などを行うことにより、学校との連携を図った。	今年度も引き続き事業を実施している
	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	ヒストリーパークしばやま体験ツアー	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	当館が所在する芝山町の南側エリアを「ヒストリーパークしばやま」と位置づけ、点在する歴史文化遺産を一体的に保存・活用しながら、その魅力を広く発信し、観光交流や地域活性化を推進する。	ヒストリーパークしばやま活用推進協議会	2024		せんべい焼きや仏教(座禅・写経)体験ツアーの実施及びヒストリーパークエリア内への誘導看板を作成・設置し、概ね好評であった。	殿塚古墳・姫塚古墳発掘70周年記念シンポジウムへの協力、旧藪家住宅(県指定有形文化財)を会場としたコンサートや芝山仁王尊・観音教寺を会場とした座禅・護摩ツアー等の各種体験ツアーの実施、パンフレットの印刷等。
	大原幽学記念館	あさひの芸術祭2025	f.作品の公募・展示		あさひの芸術祭実行委員会				
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原七タまつり連携企画「茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードプレゼント」	a.イベント(不特定多数が参加)	茂原七タまつり期間中に、まつりへの来客を当館へ呼び込む企画として、来館者に当館のポストカードをプレゼントするイベント。2日間で100枚の配布を計画した。	茂原七タまつり実行委員会	2014		当市最大のイベントである茂原七タまつりにあわせて、当館の周知を図る事業を実施することは、有意義であると考えている。	今後も同内容のイベントを継続してゆく。
	大網白里市デジタル博物館	文化資源と観光資源の連携・発信事業	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	・デジタル博物館にクイズコンテンツを作成。 ・市内の文化資源・観光資源を連携するための講演会を実施。 ・クロスワード形式のクイズを紙上で行い、応募者の中から抽選で10名に地場産品をプレゼント。		2025	2025	・クイズコンテンツの閲覧数:730件 ・講演会の参加者数:25名 ・クロスワード形式のクイズの参加者数:64名	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
南房総	館山市立博物館	祭礼・民俗行事映像のデジタル化	j.その他	8mmフィルムやVHS等で保存されている過去の撮影映像をデジタル化することで、長期保存と活用を図るため、所蔵する資料の整理を行った。		2024	2024	保存する映像記録について整理し、令和8年度の実施に向けて事業の計画を立てた。事業の継続とデータの活用が今後の課題である。	音声資料・映像記録のデジタル化については今後も進めつつ、展示やWEBページでの公開も含めた活用方法について検討する。
	鴨川シーワールド	鴨川市と鴨川シーワールドの子育て世代応援事業	g.キャンペーン	2歳未満の両親(鴨川市民として出生届を提出された方、2歳未満のお子様と一緒に鴨川市に転入された方)に鴨川シーワールドの年間パスポートを配布する。	鴨川市	2018		おおむね好評であった	実施予定
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	ミニ展示「松本ピアノと戦争」	f.作品の公募・展示	国産ピアノの黎明期を牽引した松本新吉の生誕130年と、戦後80年の節目の年の事業。双方の接点である「第二海軍航空廠の疎開」を取り上げた展示を行った。両者に関係する公民館との連携事業で、期間中に公民館が主催する解説・演奏会に、地域団体と共に協力した。	周南公民館・八重原公民館	2025	2025	地域の教育機関との連携により、当該地域の歴史と文化への理解を深める活動を実施することができた。アンケート結果は好評を得ている。(2)以外にDX弱者への広報、施設・設備の課題がある。	別テーマ・別団体との展示・講演会を実施予定

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)主催事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	デュッセルドルフ市とのアーティスト交換事業	h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	令和6年6月、千葉県は姉妹都市であるドイツ・デュッセルドルフ市とアーティスト交換に関する協定を締結しました。アーティストが双方の国で滞在制作等を行うことで、その芸術性・創造性を高めるとともに、地域の文化・芸術の発展と活性化に資することを目指しています。		2024			令和8年度はアーティスト・大川友希氏をデュッセルドルフに送り出し、帰国後は美術館で成果展を開催予定。
ベイ	千葉市美術館	「RISD美術館所蔵 ロックフェラーコレクション花鳥版画展 北斎・広重を中心に」	f.作品の公募・展示	アメリカのロードアイランド州プロビデンスにあるRISD美術館のロックフェラーコレクションから、最新の調査研究成果に基づき160点の花鳥版画を選び紹介する展覧会。千葉、山口、三重、長野の4美術館を巡回中。	巡回先の各美術館	2024	2026	来館者は目標の1.5倍を迎え、有料入場者も多く、イベントとしても大成功をおさめた。	巡回展としては継続中だが、主に為替レート(円安)や燃料費高騰等で海外経費が予算策定時より大幅に膨らんでおり、追加支出が必要。
東葛飾	松戸市戸定歴史館	科学と芸術の丘	a.イベント(不特定多数が参加)	オーストリア・リンツ市に拠点を置く文化団体「アルス・エレクトロニカ」などと松戸市が連携し、先端科学を用いたアート作品を、国指定重要文化財「戸定邸」などに展開するアートイベント。	科学と芸術の丘実行委員会	2018		周知度合いは年々高まっているが、来場者増に対して、受け入れ態勢をどう整えるのか、他部署との連携・情報伝達が課題である。	10月に開催予定。毎年、実行委員会及び担当事業者が過密スケジュールでの準備に終始しており、主催者ではない当館が本来分担以上の業務負担を担っているため、作成したマニュアルをもとに体制を確立していきたい。

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱3】多様な伝統文化の保存・継承・活用

～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした主催事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	20	50.0
実施していない	20	50.0
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	10	50.0
東葛飾	2	10.0
北総	2	10.0
九十九里	3	15.0
南房総	1	5.0
かずさ・臨海	2	10.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	8	40.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	3	15.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	5	25.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	20.0

(2) - 1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	10	10	3	3	0	0	1	5	32

【h. その他】の概要(抜粋)

・後継者の育成 ・物価高、物流コスト高、人件費等諸経費の高騰 ・材料の確保

(2) - 2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	6	9	5	4	2	6	0	5	37

【h. その他】の概要(抜粋)

・近隣に伝統文化を取り扱う展示施設があるため ・以前は正月に獅子舞やお囃子などを実施していたが、日程的に難しくなった。
--

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	7	17.5
実施していない	33	82.5
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	4	57.1
東葛飾	1	14.3
北総	0	0.0
九十九里	1	14.3
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	14.3

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	14.3
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	14.3
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	14.3
f.作品の公募・展示	1	14.3
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	3	42.9

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	2	4	1	1	0	0	0	3	11

【h.その他】の概要(抜粋)

・関係者の高齢化、対応職員の不足
・後継車の育成

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	10	16	11	7	3	3	5	8	63

【h.その他】の概要(抜粋)

・施設の方針や設立趣旨と異なるため
・鑑賞や体験による導入窓口は多く提供しているが、作り手・演者の直接的育成は目的としていない

【柱3】多様な伝統文化の保存・継承・活用

～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした主催事業について
(3)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市加曽利貝塚博物館	企画展「加曽利B式展(千葉市編)―加曽利の名を持つもうひとつの土器―」	j.その他	大正13年、加曽利貝塚の発掘調査ではじめて発見された「加曽利B式」土器は、その後、関東の縄文時代後期を代表する土器型式として認識された。本企画展では、加曽利貝塚および千葉市内の遺跡から出土した加曽利B式土器を中心に展示し、加曽利B式土器の学史や加曽利B式土器の成立とその変遷過程を追うことを目的として開催した。		2025	2027	開催期間中に読売新聞、千葉日報社の紙面に開催記事が掲載されるなど、広く一般に関心の高い内容であった。	引き続き加曽利B式土器をテーマとして、千葉県南部の資料を中心に展示を行う予定。
	市立市川考古博物館	組紐ストラップをつくろう	a.イベント(不特定多数が参加)	弥生・古墳時代にさかのぼる古組紐技法「クテ打」でストラップをつくり、歴史を学ぶ体験である。		2012		館内や例年参加している市民まつりに加えて、ラグビー・リーグワン試合会場、ショッピングセンターに初めて出展した。	館内での活動を継続しつつ、今後も様々な場所、機会で開催していきたい。
	千葉県立美術館	民藝 MINGEI-美は暮らしのなかにある	f.作品の公募・展示	民藝について「衣・食・住」をテーマにひも解き、暮らして用いられてきた美しい民藝の品々約150件を展示。また、いまに続く民藝の産地を訪ね、そこで働く作り手と、受け継がれている手仕事も紹介。		2025	2025		継続事業ではないため、実施なし。
	市立市川歴史博物館	ワラのクリスマスリース・正月飾りづくり	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	ワラをワラないし、クリスマスリースや正月飾りを作成する。		2014		おおむね好評。ワラないが小学校中学年くらいからでないと難しいため、それ以下の子どもには松ぼっくりを使ったクリスマスツリー作りなどを平行で実施。	8年度も実施。WEB申込制。ワラを市外から確保しているため、市内で確保できる方法を模索。
	千葉県立中央博物館	トピックス展 利根川の高瀬船	a.イベント(不特定多数が参加)	国の文化財に登録された利根川中下流域の川船関連用具を中心に、日本最大級の川船「利根川高瀬船」を紹介。	なし	2025	2025	国の文化財に登録された利根川中下流域の川船関連用具について触れる機会を提供することができた。	期間展示のため、令和8年度は予定なし。
	千葉県立現代産業科学館	伝えたい千葉の産業技術100選	j.その他	千葉県を発展させた歴史的な産業技術を次世代に継承するとともに、県民に地域の産業や技術、製品への理解を深めてもらうため、100件を目標に選定を進めている。県内各地域の発展に歴史的な役割を果たしたものや、産業あるいは技術の発展に著しく貢献したものを選び、「地域の学習」などにも役立つよう資料を作成する。	千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会	2015	2026	令和7年度に新たに8件を選定。これまでに通算で97件を選定した。選定した産業技術は、令和8年度に当館ホームページで公開したほか、エントランスホールにてパネル展示を行っている。	令和8年度末までに新たに3件を選定し、100選として100件の選定を終了する予定。
	八千代市立郷土博物館	やちよの民俗行事	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内の民俗行事を再現する。イネのワラを使って市内各地に伝わる「ワラヘビ」を作る。	八千代市立郷土博物館	2015		地域の民俗行事を基軸として、その周知と普及に関わるとともに、参加した親子や参加者同士のコミュニケーションの場にもなったかと考えられる。材料であるワラの確保や、講師の方の高齢化などの課題がある。	例年通りの時期、規模で開催を予定している。規模の拡大は困難と考えられる。講師の方の都合や体調などを考慮して、講座の内容を変更する可能性も、今後生じ得ると考えられる。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得ることができた。	令和6年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
	千葉経済大学地域経済博物館	令和7年度特別展「房総の幕末維新」	a.イベント(不特定多数が参加)	幕末の房総で生じたさまざまな出来事を取り上げ、それらに社会各層がどのように対応していたのか、地域に残された資料をもとに紹介した。	なし	2010	なし	展示という形を通して千葉県の歴史事象をわかりやすく示すことができた。また、アンケートの結果から、あまり取り上げられない、身近な地域の歴史に関する展示であったことから、千葉の歴史に改めて興味・関心を持ってもらうきっかけとなったことがうかがえた。	前年度同様、千葉県の地域史や文化をテーマに開催予定。
	千葉市美術館	企画展「江戸の名プロデューサー 髑屋重三郎と浮世絵のキセキ」及び「日本美術とあゆむ」	f.作品の公募・展示	千葉市美術館のコレクションの1分野である「日本近世・近代の絵画と版画」を中心とした企画展示。		2025	2025	開館30周年記念としてのコレクションによる企画展示は注目を集め、自館コレクションの周知と来館者の増大につながった。	

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
東葛飾	野田市郷土博物館	呈茶席	a.イベント(不特定多数が参加)	来場者に抹茶と茶菓子を提供した。	野田市茶道協会	2025	2025		同様に実施予定。
	流山市立博物館	博物館子ども教室(茶道教室、煎茶教室)	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	茶道及び煎茶道の講師を招いて開催する。内容は、座学のみならず、子ども達自らお茶を点てる体験を通じて、礼儀や作法を学ぶ。				子ども達が茶道や煎茶道といった伝統文化を体験する良い機会である。	博物館子ども教室(茶道教室、煎茶教室)として実施予定。
北総	千葉県立房総のむら	年6回のまつり(春のまつり・むらの緑日・夕涼み・秋のまつり・日本遺産北総四都市デー・むらのお正月・さくらまつり)	a.イベント(不特定多数が参加)	年6回行われているまつりイベントにおいて、大道芸や民俗芸能の上演などを行っている。	大道芸:株式会社桃プランニング 民俗芸能:各市町村・各民俗芸能団体	1986	2028	大道芸も民俗芸能も最近ではお目に掛ける機会が少ないことから、来館者からも好評である。課題としては民俗芸能団体の高齢化・後継者不足のため出演へ向けた調整が難航する場合がある。また年6回も行うことから職員へ負担となっていることも挙げられる(本来の学芸員業務へ専念できない)。	令和8年度も引き続き年6回実施予定である。職員への負担を減らすために、外部委託を積極的に取り入れていく予定である。
	大原幽学記念館	企画展「くらしの中の昔の道具～五感で感じる涼の工夫～」	a.イベント(不特定多数が参加)			2025	2025		夏季・秋季2回企画展の開催を予定している
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	郷土資料館テーマ展、常設展示	f.作品の公募・展示	テーマ展「戦後80年展―戦時中の暮らしと茂原―」や、年2回の常設展示の開催により、郷土の歴史、文化について広く紹介し、郷土愛の醸成に寄与する。				展示室の設備の形状等に制約がある中、都度、展示内容を変更する必要があるため、ケース配置等に工夫を凝らして陳列している。入館者数は、コロナ禍以降では最多となり、増加傾向にある。	内閣官房「昭和100年」関連施策として、「茂原で振り返る昭和100年」を美術館と郷土資料館の合同で展示し、戦後の昭和の茂原をテーマとした展示や、常設展示を開催する。
	大網白里市デジタル博物館	大網白里市の郷土芸能	j.その他	市内で継承されている郷土芸能に関する資料(動画・音声・歌詞など)でデジタル博物館に独立したコンテンツとして公開している。	各芸能の保存会	2019		年間1,722件のアクセスがあり、好評であった。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
	城西国際大学水田美術館	高森碎巖―長南に生まれた最後の南画家―	a.イベント(不特定多数が参加)	長南町出身の南画家・高森碎巖の作品を展示		2025		忘れられた千葉県ゆかりの画家の再評価につながる機会となった。	
南房総	館山市立博物館	八犬伝プロジェクト	f.作品の公募・展示	国際ロータリー第2790地区と連携し、千葉県内6カ所の美術館・博物館で「八犬伝」をテーマに宮田雅之と辻村寿三郎の作品を展示した。館山城(八犬伝博物館)は「八犬伝プロジェクト～南総里見八犬伝～宮田雅之と辻村寿三郎～ふたつの八犬伝」を前期(7/19～8/31)、後期(9/6～10/26)に分けて開催し、宮田雅之氏の刀勢画64点と辻村寿三郎氏の人形14点を展示した。	国際ロータリー第2790地区、株式会社塚原緑地研究所、千葉県美術館、菱川師宣記念館、鋸山美術館、成田山書道美術館、茂木本家美術館	2026	2026	テレビで取り上げられたこともあり、多数の来館者があった。また、館山市立博物館本館企画展と同時期に開催することで、来館者の増加と満足度の向上につなげることが出来た。	博物館本館において開催する企画展と同時期に館山城において八犬伝に関する展示を開催する予定である。
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	常設展示事業	f.作品の公募・展示	「ふるさととの歴史と自然をたずねて」をテーマに、「郷土を掘る」・「城と武士」・「信仰と文化」の3つのコーナーから構成される展示。甲冑や刀剣、細工楊枝や現在も継承される上総掘り、二五穴などの伝統の技術の紹介があり、展示を通して市の文化遺産を学ぶ場を整える。入館料は無料で、どなたでもご覧いただける。		1979		展示資料の入れ替えなど、展示を最新の成果に基づき更新していく必要がある。	令和8年度も引き続き実施予定である。
	市原歴史博物館	伝統技術ワークショップ	a.イベント(不特定多数が参加)			2022		プロの大工職人・鍛冶屋による説明や実演を交えながら、体験することで、伝統的な技術に触れ関心を持つ機会を創出できた。	伝統的な建築技術である左官と土壁塗りや鋼を鍛造する鍛冶の技術を職人から直接学ぶ体験プログラムを実施予定。

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市加曽利貝塚博物館	博物館学芸員実習	c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	学芸員資格の取得を目指す学生を対象に、館務実習の受入をおこなっている。				職員による講義、園内・館内見学のほか、実習生による企画展「土から出てきたフシギなかがり」を開催した。来館者より好評を得ており、アイデアにあふれた企画展示となった。	令和8年度も実施予定である。
	市立市川考古博物館	ボランティア養成講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	組紐、火おこし、など、当館で指導員として活躍するボランティアを養成する講座。		1999		今年度は実施しなかった。	適宜開催する。
	千葉県立美術館	鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花	f.作品の公募・展示	益子焼窯元の家に生まれ、人間国宝・田村耕一氏に師事し、日本伝統工芸展を中心に出品を重ねて、陶芸の道を進んだ神谷紀雄の奇跡を紹介		2025	2025		継続事業ではないため、実施なし。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得た。子供向けの体験講座の開催やSNSでの活動紹介を通し、後継者の育成・団体の新規会員募集に努めることができた。	令和7年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
東葛飾	公益財団法人高梨本家 上花輪歴史館	樽づくりや縄繻いなどの技術移転	j.その他	元製樽職人指導のもと、製樽技術指導をスタート。縄繻いについても別の技術者のもと職員向け講習会を実施。				縄繻いとはともかく、製樽技術の移転はかなり難しい。少しでも後世に伝えられるよう、職人からの聞き取りや、映像収録と合わせて対応している。	製樽については金輪製造など徐々に進行中。縄繻いについては、昨年の講習会の知見をもとに、本年は、一般向け講座(体験会)として実施予定。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	歴史セミナー・古文書講座	e.講演会・研修会・シンポジウム	郷土の歴史、文化に関連のある内容で、各分野に精通した講師を招き、講演会を開催。歴史セミナーは、第1回「戦後80年展―戦時中の暮らしと茂原―」、第2回「茂原市域の仏教美術」(市史編さん事業講演会)、第3回「中世の茂原～上総酒井氏と武田氏～」の計3回、古文書講座は計5回を開催。		1994		受講希望者の多い古文書講座については、より多くの方々に参加いただくため、より広い会場(市役所)に場所を移して開催している。郷土の歴史を学び、郷土愛を育む上で、有意義な事業と考えている。	令和8年度は、歴史セミナー計2回、古文書講座を計5回、市史編さん事業講演会1回を開催予定。今後も継続してゆく。
かずさ・臨海	市原歴史博物館	市民連携事業	j.その他	かつてセタ行事で使われたマコモ馬の製作技術の継承に向けた活動を協働で行い、その成果を市原歴史博物館エントランスで展示する。				失われつつある伝統行事を地域の力で継承することができ、その成果を歴史博物館で展示することで、多くの市民に市内の伝統行事の価値と魅力を伝えることができた。	引き続きマコモ馬製作技術の保存継承のための活動を進めるとともに、失われつつある伝統行事の掘り起こしを市民協働で行う。

※調査対象46施設(うち回答があった40施設について集計)

【柱4】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化を進めるとともに、文化芸術の新たな表現・発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や伝統文化等と国内外のコラボレーションなどによる新たな「ちば文化」を創造します～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした主催事業について

(1)主催事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	16	40.0
実施していない	24	60.0
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	8	50.0
東葛飾	1	6.3
北総	1	6.3
九十九里	2	12.5
南房総	2	12.5
かずさ・臨海	2	12.5

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	5	31.3
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	5	31.3
c.教育機関への人員派遣・学生受け入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f.作品の公募・展示	2	12.5
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	4	25.0

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	6	9	3	4	0	0	2	4	28

【h.その他】の概要(抜粋)

文化財としての活用制限について、観光部局との認識共有が必要

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	7	11	5	6	4	6	0	4	43

【h.その他】の概要(抜粋)

文化施設ではないため実施事業が限定される

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした主催事業について

(1) 主催事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	7	17.5
実施していない	33	82.5
計(B)	40	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	42.9
東葛飾	1	14.3
北総	0	0.0
九十九里	1	14.3
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	2	28.6

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a.イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	14.3
c.教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d.舞台公演・コンサート	0	0.0
e.講演会・研修会・シンポジウム	1	14.3
f.作品の公募・展示	1	14.3
g.キャンペーン	0	0.0
h.支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j.その他	4	57.1

(2)－1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	2	2	2	2	0	0	0	1	9

【h.その他】の概要(抜粋)

特になし

(2)－2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a.事業予算が確保できない	b.事業を企画・実施するための職員が不足している	c.事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d.長期的な視野に立った継続事業ができない。	e.関係者・関係機関とのネットワークがない	f.関係者・関係機関からの要望がない	g.連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h.その他	計
回答数	16	18	17	7	4	7	0	7	76

【h.その他】の概要(抜粋)

・財政状況により、事業予算の確保が困難 ・主たる展示趣旨と異なるため

【柱4】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化を進めるとともに、文化芸術の新たな表現・発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や伝統文化等と国内外のコラボレーションなどによる新たな「ちば文化」を創造します～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした主催事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立郷土博物館	千葉氏パネル展「千葉氏をめぐる水の物語」	a.イベント(不特定多数が参加)	市域の河川と海・池からなる「水の世界」と千葉氏との関係を歴史的・文化的な視点からとらえなおすパネル展。		2024	2024	千葉氏をめぐる水との関係を多くの人々に理解していただいた。	千葉開府900年にちなんだ千葉氏に関する特別展を実施予定。
	市立市川歴史博物館	常設展示 市川の民俗	j.その他	辻切りの大蛇やにらめっこオビシャなど、市内で行われていた民俗行事を展示		1982		市内小学校見学の際、説明。恒久展示となっているため、特集展や入替などの必要がある。	調査した行事を写真パネル等で展示予定。
	千葉県立中央博物館	特別展 房総うみの幸 大百科－千葉の豊かな海と食文化－	a.イベント(不特定多数が参加)	三方を海に囲まれた千葉県には多様な海の姿があり、多様な生物が暮らしている。東京湾から安房、夷隅、九十九里、銚子までぐるりと巡り、郷土料理等に使われている海の食材を自然誌の視点で解説した。県民をはじめとした多くの方に、豊かな海の恵みで培われてきた千葉県の海の幸の魅力を伝え、千葉の食文化や漁業文化を知る機会を提供した。	県立中央図書館、千葉市立加曽利博物館 等	2025	2025	イラストやデジタルお絵描き等のコンテンツを準備することで、多くの親子連れが来場した。子どもたちに県内の食文化や漁業文化について知る機会を提供できた。	期間展示のため、令和8年度は予定なし。
	千葉県立現代産業科学館	プラネタリウム上映会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	直径23メートルのドームスクリーンと勾配30度の階段状観客席をもつサイエンスドームにおいて、プラネタリウムを実施。小湊鉄道の沿線沿いや、養老溪谷の神秘的空間に広がる星空を紹介した「千葉の星めぐり」などで、美しい自然や星空を映し出す作品を上映した。	委託業者	2006		例年同様、上映会は好評であった。会期中4回のプラネタリウム作品制作者による解説会を行ったが、その中で、千葉県内での撮影秘話などの紹介もあり、参加者の満足度は高かった。	上映予定4作品のうち2作品に新たに字幕を付し、音声を聞き取りにくい方にも楽しんでもらえるようにした。
	八千代市立郷土博物館	自然観察会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内の一部地区周辺を徒歩で散策し、自然や地形の特徴、文化財などを観察する。	個人	2004		おおむね前年度と同様の事業規模で実施ができた。人気のある講座だが、講師の高齢化などの問題がある。また、地域の自然を専門とする職員の在籍がなく、講座以外の博物館活動に結びついていない。	例年通り実施を予定しているが、講師高齢のため、要相談となっている。
	浦安市郷土博物館	館外体験	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	身近な自然に触れることで浦安の環境を考える「観察会」、浦安の伝統的な木造船を使用して実施する「境川乗船体験」を実施する。	浦安水辺の会・浦安野鳥の会・浦安細川流投網保存会			干潟観察会・街路樹観察会・野鳥観察会・境川乗船体験・自然観察デイキャンプを実施し、三番瀬や市内の自然・環境について学び考える機会を提供することができた。	令和7年度に引き続き事業を実施し、浦安の自然に触れる機会を提供していく。
	千葉市動物公園	動物園で考古学	j.その他	動物公園建設時に発掘された餅ヶ崎遺跡やその出土品に関する企画展	千葉市埋蔵文化財センター	2020		動物科学館の工事に伴い一時休止していたが、リニューアルオープンに併せて再開し、来園者が考古学に触れるきっかけを作ることができた。	令和8年度も継続して展示予定。
	千葉市美術館	コレクションのデジタルアーカイブ化と発信	j.その他	主として所蔵品(文化資源)の画像生成、データ整備とデータベースの更新、公開までを行う。				補助金を得た4年間で、約6,000カットの新規撮影を行い、2023年より公開しているデータベースを更新。約4,000件の作品に画像公開をした。	補助金がなくなったが、通常の美術館活動のなかで、データの更新などを続けてゆく。
東葛飾	流山市立博物館	博物館子ども教室(木の実工作)	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	身近な自然を生かした工作講座	市内文化団体			身近な自然を感じることができた。	博物館子ども教室(木の実工作)として実施予定。
北総	大原幽学記念館	幽学の里で米作り交流事業	a.イベント(不特定多数が参加)	史跡大原幽学遺跡の田んぼで、田植えから収穫までを都市部に住む人々に体験してもらう。また、収穫祭を開催し、地元の特産品が当たる抽選会や地元のお囃子を楽しんでもらう等の交流をしている。	旭市農漁村交流協議会	2007		普段の生活ではできない体験として好評。リピーターも多い。	
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	美術収蔵品展「芝原人形と絵画展」	f.作品の公募・展示	明治時代から長南町に伝わる、千葉県伝統的工芸品(土人形)の芝原人形160点と、牧野三生郎(まきのさぶろう)ほか、郷土ゆかりの日本画家、洋画家の作品をコラボ展示。				千葉県伝統的工芸品と収蔵絵画のコラボ展示は千葉県の文化資産を活かした展示として有意義であると考えている。会期中に3回の学芸員による解説会を行い、反響が大きかった。	美術収蔵品展「Bou-Shu Landscape－描かれた房州風景－」を開催し、郷土ゆかりの作家による、千葉県内の自然等を描いた風景画展を開催予定。
	大網白里市デジタル博物館	大漁がもたらした「いわし文化」	j.その他	デジタル博物館に九十九里浜のいわしの大漁がもたらした「いわし文化」に関するコンテンツを公開している。		2019		年間2,148件のアクセスがあり、好評であった。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。

エリア	施設名	事業の名称	事業の属性	事業の概要	連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	事業の開始年度	終了(予定)年度	令和7年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	令和8年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
南房総	館山市立博物館	常設展「房総半島の海と生活」	f.作品の公募・展示	館山市立博物館分館にて、重要有形民俗文化財の「房総半島の漁撈用具」や県有形民俗文化財の「房総半島の万祝及び製作関連資料」を中心に房総の漁業に関わる文化や漁民の生活を紹介している。常設展示「房総半島の海と生活」。	観光みなと課	2009		入館料が無料で気軽に見学できることや同施設内にあるさかなクングャラリーの人気もあり、観光客を中心に多くの来館者が訪れ、展示を見学し、房総の漁業に関わる文化に触れることとなった。一方、人員や展示スペースは縮小している。	常設展示室の展示替えやオンラインの活用など、資料の新たな発信方法を検討する。
	鴨川シーワールド	千葉県民の日「マダイの放流」	a.イベント(不特定多数が参加)	「千葉県民の日」を記念して千葉県魚「タイ(マダイ)」の幼魚の放流をおこない千葉県の水産事業の事も知っていただく。	公益財団法人 千葉県水産振興公社	1989		これまでは自前で放流用のマダイを準備していたが2023年は公益財団法人 千葉県水産振興公社よりいただいたマダイの稚魚を育成して実施。昨年は天候不良のため延期し実施した。	実施予定
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	資料館講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	中世山城や川廻しなど関りがある場所や、地域的な特徴のある景観や遺構、伝統的な技術の見られる場所などを訪れて学ぶ講座や、指定・登録などの文化財に関する講座や見学会を行っている。		1979		久留里と関係のある新井白石に関する史跡や里見氏にゆかりのある山城を見学する講座や、重要文化財「長板中形」の出張講座を実施した。いずれも好評だが、見学会の一般参加者の一部固定化が見られる。	令和8年度も引き続き実施予定である。
	市原歴史博物館	フィールドミュージアム事業	a.イベント(不特定多数が参加)		ふるさと市原をつなぐ連絡会	2020		市内4地区において見学環境の整備を進め、市民活動団体等と連携してフィールドワークを開催したが、活用面が足りていない。	令和7年度で標柱設置やマップ製作など見学環境の整備事業が完了したことから、令和8年度は企画展等と連動した現地見学ツアーを回数を増やして開催する。

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした主催事業について

(3) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和6年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和7年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	下総国府等VR映像	f.作品の公募・展示	下総国府、下総国分寺、北下遺跡を紹介するVR動画をそれぞれ3分ほどの長さで文化財課が製作し、イベントで公開した。そのイベント終了後に、当館で視聴公開している。	文化財課	2025		おおむね好評であった。高額な機器を安全に運用しつつ、記帳による受付方法の簡略化を図ることが課題になっている。	継続して実施する。
	千葉県立現代産業科学館	プラネタリウム上映会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	直径23メートルのドームスクリーンと勾配30度の階段状観客席をもつサイエンスドームにおいて、プラネタリウムを実施。最新鋭のレンズ式移動型プラネタリウム、メガスターを使用して上映する。		2006		例年同様、上映会は好評であった。会期中4回のプラネタリウム作品制作者による解説会を行った。大きなスクリーンに、これまでは映し出すことができなかった、暗い星までを見ることができ、好評であった。	昨年に引き続き、メガスターを使った上映会を実施予定。
	千葉市動物公園	千葉市動物公園NFTコレクション	j.その他	動物の3D・NFTの販売	千葉市動物公園	2025		先進的な取り組みにより、動物園(博物館)としての新たな価値創造のきっかけを作ることができた。	令和8年度も継続して販売予定。
東葛飾	松戸市立博物館	まつどデジタルミュージアムの開設	j.その他	松戸市立博物館と戸定歴史館で所蔵している貴重な資料をデジタルアーカイブ化し、市民の方々に幅広く且つ包括的に資料を公開したデジタルミュージアムを2022年度開設した。松戸の歴史に対して興味、探求心を創出。また、デジタルミュージアムでは、所蔵資料の公開のみならず、こども向けに作成したまつどの歴史紹介ページやデジタルマップの活用により、新たな生活様式の下でも、本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供。		2022		本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供するだけでなく、デジタルアーカイブ化したことにより、資料管理の徹底と効率化に繋がった。2025年からは美準資料も追加された。	資料の保存及び体系化を引き続き実施していく。
九十九里	大網白里市デジタル博物館	3D資料の公開	j.その他	各種ページに3Dでの資料を公開している。		2018		土器や石器を中心に3Dで資料を公開し、多く閲覧されている。	新規でコンテンツを追加するための予算確保が課題である。
かずさ・臨海	木更津市郷土博物館金のすず	地域学講座『木更津風土記』第1回「アサガオの色と形の変化を調べてみよう!」(東京大学×かずさDNA研究所×金のすずコラボレーション企画)	e.講演会・研修会・シンポジウム	変化アサガオの研究紹介、「アサガオ」の色水実験(アサガオの花粉管が伸びる様子の演示実験)、DNAキーホルダーづくり	東京大学、公益財団法人かずさDNA研究所	2025	2025	講演や実験、キーホルダーづくりなどの様々な体験を通して、子どもから大人まで幅広い世代がアサガオについて理解を深める機会となった。	
	市原歴史博物館	博学連携事業	j.その他	歴史遺産の保存と活用を図るため、千葉大学デザイン文化計画研究室と連携し、三次元計測データを活用した「触れる展示」資料の製作とミュージアムグッズの開発を行う。	千葉大学			特別展テーマに関連し、出羽三山塚出土鏡やほら貝の三次元計測を行い、石鯨鏡づくり等のワークショップを開催したほか、共同開発したミュージアムグッズを製作・販売し、文化財への理解と愛着を深めることができた。	特別展・企画展関連資料の三次元計測を行うとともに、ワークショップの開催やミュージアムグッズの製作・販売を実施予定。